

褥瘡ハイリスク患者ケア加算に係る報告書

| 褥瘡対策の実績（報告月の前月の１ヶ月間の実績・状況） | | |
|----------------------------|--|---|
| ① 入院患者数（報告月の前月の１ヶ月間の入院患者数） | | |
| ② | ①のうち、褥瘡リスクアセスメント実施人数 | 名 |
| ③ | ②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者数 | 名 |
| 褥瘡ハイリスク項目 | １．ショック状態のもの | 名 |
| | ２．重度の末梢循環不全のもの | 名 |
| | ３．麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの | 名 |
| | ４．６時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの | 名 |
| | ５．特殊体位による手術を受けたもの | 名 |
| | ６．強度の下痢が続く状態であるもの | 名 |
| | ７．極度の皮膚の脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸など） | 名 |
| | ８．医療関連機器の長期かつ持続的な使用（医療用弾性ストッキング、シーネ等） | 名 |
| | ９．褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があつて既に褥瘡を有するもの | 名 |
| ④ 本加算を算定した人数 | | 名 |

〔記載上の注意〕

- 褥瘡対策の実施状況については、報告月の前月の件数を記入すること。ただし、１名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者１名として数えることとする。
- ①については、報告月の前月１ヶ月間に入院していた患者の実人数を記入する。
- ②については、①のうち、褥瘡リスクアセスメントを実施した患者の実人数を記入する（１名の患者について複数回、褥瘡リスクアセスメントを実施した場合も、患者１名として数える）。
- ③については、②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者の実人数を記入する（１名の患者について複数の褥瘡ハイリスク項目を有していても、患者１名として数える）。
- ③のうち褥瘡ハイリスク項目の各項目については、１名の患者につき、複数の要因がある場合は、それぞれに１名として数えることとする（複数回答）。